

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年10月3日～23日、24日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 佐藤、北畠、佐藤治、船木、齋藤、成田、三上、外崎、川越、須々田、福土、高橋、川嶋、蒔苗

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	10	1		14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	11			14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	10	2		14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	8	5		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 希望やニーズを把握するよう努めている。家族の思い等にも配慮し関係作りに努めている 本人が困っていることや不安を受け止め気遣いを行っている。また、他利用者と会話できるように配慮している アセスメントシートを使用し情報共有に努めている (事前にADL、嗜好等を把握している) なるべく会話を持つように意識している (必ず挨拶するよう心掛けている) ミーティング等を活用し話し合いを行っている 自宅訪問時に家族へ日中の様子について伝達するようにしている 言葉使いや声掛け、気配りについて意識して対応するようにしている 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 家族の支援まで行うことができていない 事前情報として個々の細かな情報が共有できていない 家族との信頼関係を構築できるまでに至っていない場合が多い 本人の状態を把握できていないままに対応していることがある 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 利用前のアセスメントの段階から、介護支援専門員以外の職員も積極的に関わるようにしていく (利用する前から本人・家族と顔を合わせる機会が作られることで、良好な関係構築に取り組みやすくなる) 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年10月3日～23日、24日

2. 「～したい」の実現（自己表現の尊重）

メンバー 佐藤、北島、佐藤治、船木、齋藤、成田、三上、外崎、川越、須々田、福土、高橋、川嶋、蒔苗

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	8	4	1	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	9	3	1	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	10	2	1	14
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	5	7	1	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ケアプランの見直しの際に本人の目標等を明確化しプランとして設定するよう努めている
- ・本人がどうしたいかについて傾聴している
- ・自分が担当する利用者の目標は把握できている
- ・自立支援に向けた取り組みに努めている

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ケアプランを回覧し周知を図っているが、職員同士のプランへの取り組みや理解に差があるように感じる
- ・本人のゴールと家族の意向が噛み合わないことがある
- ・在宅で支える家族への支援ができていない（家庭の意向を把握できていない）
- ・担当以外の利用者の目標把握ができていない。また、目標を目指した関わりができていない
- ・普段の関わりの中で、目標について利用者話し合う機会が少ない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・自分の担当する利用者に限らず、全員の目標（ゴール）を把握する。目標達成を意識して普段から関わるよう取り組んでいく。（普段の会話から本人・家族の意向を確認するよう心掛ける）

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年10月3日～23日、24日

3. 日常生活の支援

メンバー 佐藤、北島、佐藤治、船木、齋藤、成田、三上、外崎、川越、須々田、福土、高橋、川嶋、蒔苗

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	1	8	4	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	7	1		14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	5	6	1	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	7	1		14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	10			14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の状態に合わせて、本人・家族と相談し見直し、検討を行っている ・本人の気持ちやプライバシーに配慮した支援を行っている ・ADLや体調の変化について把握し対応ができています ・利用期間が長い利用者についてはある程度把握しているが、新しい利用者の情報は把握できていない ・基礎的な介護はできている 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングの活用や自ら発信するという意識が不足している ・以前の暮らし方を把握しようとする意識が足りない ・家族と情報共有する機会が少ない ・即時的に支援したいが話し合いが必要な場合にはすぐに対応できないことがある ・現状把握に重きを置いており、これまでの生活にあまり目を向けてこなかった ・通常の業務の中で、どこまで把握できるか難しいところもある 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・「以前の暮らし方」についての情報収集ができるような関わりを積極的に行う。(意識的な会話を行う。家族からの聞き取りを行う) 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年10月3日～23日、24日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 佐藤、北島、佐藤治、船木、齋藤、成田、三上、外崎、川越、須々田、福土、高橋、川嶋、蒔苗

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	8	5		14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	5	6	1	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6	8		14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			11	3	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングや訪問、送迎時に本人の状態や生活スタイル等の情報収集を行っている。 ・普段の会話から把握できるように努めている 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・関わらない時間の過ごし方や地域との結びつき等の把握が不足している ・地域の行事や普段の様子について会話する機会が不足している ・地域の資源の把握ができていない(知識不足) ・地域との関係性が把握できていない ・事業所以外での生活の様子がわからない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・自宅での様子や地域との関係性についての情報収集ができるような関わりを積極的に行う。(意識的な会話を行う。家族からの聞き取りを行う) 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年10月3日～23日、24日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 佐藤、北畠、佐藤治、船木、齋藤、成田、三上、外崎、川越、須々田、福士、高橋、川嶋、蒔苗

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	2	7	4	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	10	2		14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	8	2	1	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	11			14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに応じたサービス提供ができている ・日々の記録での情報共有ができている ・突発的なニーズにも対応できている 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ全員と共有するミーティングの場がない ・地域資源の活用が知識不足もありできていない ・対策を検討するまでに至っていない場合もある ・ニーズに対して必要な支援が不足していることもある(必要なことを必要な量でやれていない) 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・自宅での様子や地域との関係性についての情報収集ができるような関わりを積極的に行う。(意識的な会話をを行う。家族からの聞き取りを行う) 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年10月3日～23日、24日

6. 連携・協働

メンバー 佐藤、北島、佐藤治、船木、齋藤、成田、三上、外崎、川越、須々田、福土、高橋、川嶋、蒔苗

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		3	4	7	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	2	1	10	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		4	1	9	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		3	2	9	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時には医療機関と連絡を取りスムーズな対応を行っている ・理学療法士と会議を行っている ・地域の学校との関わりがある（職場体験やボランティア） ・町内の活動（側溝清掃）に参加している 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所では様々なサービス機関と会議を行っているが個人的には参加していない ・職種によって参加機会は違っている ・地域の活動やイベントを把握できていない ・登録者以外の方が事業所を訪問できる機会がない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・サービス機関や地域団体との会議には積極的に参加する。また、登録者以外の地域住民が事業所を訪れる機会を検討していく 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年10月3日～23日、24日

7. 運営

メンバー 佐藤、北畠、佐藤治、船木、齋藤、成田、三上、外崎、川越、須々田、福土、高橋、川嶋、蒔苗

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		4	7	3	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	6		14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4	6	4	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		2	7	5	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・食事に関する意見を反映させることができている ・家族等からの意見や苦情については運営に反映できている ・話しやすい環境作りに努めている ・自宅へ送迎に伺った際には家族から直接意見を聞くことができている ・定期的に運営推進会議を開催している 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方からの意見や苦情は把握できていない ・地域との関わりが薄い ・職場内での話し合いや地域で語り合う機会をもう少しリラックスした雰囲気にした方がよい ・意見を反映させるための場がないため反映できていない ・地域と協働する方法がわからない ・自分の意見が正しいか自信がないため意見が言いにくい 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、家族、地域からの意見や苦情があった場合には、速やかに検討する機会を設け、運営に反映させるよう取り組んでいく 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年10月3日～23日、24日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 佐藤、北島、佐藤治、船木、齋藤、成田、三上、外崎、川越、須々田、福士、高橋、川嶋、蒔苗

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	6	4	2	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	4	7	14
③	地域連絡会に参加していますか	1		4	9	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	6	2	4	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・研修参加はできている ・リスクマネジメントとして、ヒヤリハット対策について毎月検討している ・職場内の勉強会について、年間計画を作成している 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加していない ・資格取得やスキルアップ研修に参加できていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・必要な研修へは参加するよう取り組んでいく。地域連絡会が開催される際は参加する。資格取得やスキルアップのための研修は個人的に積極的に参加するようになる 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年10月3日～23日、24日

9. 人権・プライバシー

メンバー 佐藤、北島、佐藤治、船木、齋藤、成田、三上、外崎、川越、須々田、福土、高橋、川嶋、蒔苗

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	6	4	4		14
②	虐待は行われていない	12	2			14
③	プライバシーが守られている	9	4	1		14
④	必要な方に成年後見制度を活用している		1	2	11	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	5	2		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・個人情報管理はできている ・虐待はなく個人に合わせた対応ができている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・身体拘束に当たる行為について統一した解釈ができていない ・成年後見制度を利用している人がいないことで理解不足である ・プライバシーが守られていない時がある ・危険回避と安全確保との問題がクリアされていない ・他利用者がある空間で利用者のことを話していることがある	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・身体拘束をしないための対応について職員間で意識統一を図る。成年後見制度についての知識習得に努める。	